

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	コロナウィルス感染症の下で漂流する世界と静岡県経済・企業への影響				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	宮崎 晋生
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	古川 光明
		所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	飯野 光浩
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	宮崎 晋生

講演題目	コロナウィルス感染症の下で漂流する世界と静岡県経済・企業への影響
------	----------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

現在もコロナウィルスが世界中で猛威を振るっており、その感染防止策や防疫は、世界経済、静岡県経済や県内企業にも大きな影響を及ぼしている。この影響について研究した。主な成果と今後の展望は以下の3点である。

(1) 新型コロナウィルスは県内企業経営にプラス・マイナスの両面の影響を与えた。マイナス面では人流抑制による観光・運輸業、観光業、への打撃などが各方面から指摘されている。プラス面として各種の遠隔化可能な ICT を用いた業務刷新の促進要因となっている。県内に拠点を置く企業として注目される工作機械メーカー R 社の例では、製品部品各所に装着されているセンサー類を通じた各種データ転送が可能、経験則や勘といった曖昧な情報ではなく数値によって裏付けられた、正確な計測・予測に基づく経営を顧客である製造業企業に提案している。コロナ禍以降 R 社には引き合いがむしろ世界各地から増加、「第4次産業革命」の推進役として期待されている。このような ICT を活用した県内企業・製造業への波及効果は依然として少ないものの、今後ともこのようなプラス面の動向に注目したい。

(2) 2019年12月初旬に中国武漢市で最初の感染者が確認され、その猛威は世界中に拡大することとなり、世界経済にも大きな影響を与え続けている。具体的には、貧困状態にある人々の数は、2018年の公式記録による最新の数字と比較して、4億2,000万人から5億8,000万人に増加する可能性があり、今世紀に入り初めて世界の貧困が増加する結果となった。世界的な経済への影響は、日本、そして、静岡経済や企業にも影響を及ぼしており、とりわけ、インバウンドが制限されるなど、観光ホテル業へのマイナスへの影響は顕著となった。また、コロナは、日本と密接な関係にある東アジアにおける対外援助戦略にも影響を与え、「開かれたアジア太平洋戦略」のなかで静岡企業も含めた日本企業にもプラスの効果が期待されていたが、その恩恵を受け得ていない状況が続いている。

(3) コロナウィルス対策で経済運営に関する政府の重要性が改めて認識され、日本をはじめとする先進諸国で市場メカニズムの有効性が揺らいでいる。コロナウィルス対策による大規模な財政支出はその一例である。この動きに呼応する形で、中国などの独裁的な政治体制や権威主義的体制を評価する動きもある。日本では病院を国有化すべきとの議論もあるが、国有企業の非効率性がよく知られている。重要なことは、このコロナ禍で得た経験を基にして、厚生を重視する政府や地方自治体の役割と利益を重視する市場や民間の役割をきちんと整理して、役割分担を明確にすることである。